

## 株式会社富士薬品による株式会社モリキの株式（90％）譲受による経営権取得

（合意契約締結時期） 2003年4月

（当社の立場） 双方企業への提案と双方からの依頼による仲介

（案件の意義）

モリキは長野県においてドラッグストアを中心に約30店舗を展開する企業であるが、業界の競争環境がますます激化する中、事業をさらに大きく発展させるために、他社とのアライアンスを将来へ向けての選択肢の一つとしていた。一方、富士薬品は本格的に出店していない地域でのドラッグストア企業との連携を重要な選択肢としていた。このような両社に対し、モリキが富士薬品グループの一員となり、両社が協力して、長野県内での地盤をより強固にし、さらには県外への展開も含めて、相互に発展していくことを提案。両社の意向が合致した。